

PCIT ～親子相互交流療法～

＊参加者募集＊



お子さんへの接し方を、
セラピストと一緒に練習してみませんか？



- ✓ PCIT (Parent-Child Interaction Therapy: 親子相互交流療法) は、親子関係に悩まれている方におすすめの心理学を活用したプログラムです。

NHK「あさいち」、「ウワサの保護者会」で紹介されたプログラムです。

- ✓ PCIT では、保護者の方にお子さんへの接し方のコツをお伝えします。
- ✓ PCIT に参加されると、保護者の方にもお子さんにも嬉しい変化が起こります。

例) 保護者：育児ストレスの解消，子どもへのかかわり方の悩みの減少
お子さん：ぐずりやかんしゃくの解消，コミュニケーション能力の向上

PCIT についての詳細は裏面をご参照ください。

どんな人が参加できるの？

- ①3歳から6歳11カ月までのお子さん， お子さんへの接し方に困っている保護者
- ②保護者とお子さんが毎週月曜日に一緒に関西学院大学心理科学実践センター(阪急西宮ガーデンズゲート館10階)に来談できる方
- (③知的に遅れのない自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害のお子さんも合わせて募集します)

どれくらいやるの？

毎週月曜日(1回 60～90 分程度)を10～15回程度

お金はかかるの？

研究の一環として実施するため，無料です。

参加が可能な方、興味のある方は右下の QR コードを読み込んでください。
メールでのお問い合わせ(pcit.hsatolab@gmail.com)も受け付けて
おります(関西学院大学文学部総合心理科学科 佐藤寛研究室)。



PCIT は子ども指向相互交流（**CDI**）と、親指向相互交流（**PDI**）の2段階から成り立っています。**PCIT** では、親子で遊びながら、「子どもの適切な行動を増やすスキル（**CDI** スキル）」と「子どもとの安心した温かい関係を維持しながら効果的にしつけをするスキル（**PDI** スキル）」を練習し身に着けます。

第1段階：子ども指向相互交流（Child-Directed Interaction: CDI）

子どもと仲良くなるために、保護者に **CDI** スキルを身に着けます。

ステップ1：**CDI** ティーチングセッション（約60分/回を1回）

子どもへの適切なかかわり方である **CDI** スキルを、セラピストと養育者の2人で練習します。

ステップ2：**CDI** コーチングセッション（約60～90分/回を平均6回）

子どもに自由に遊んでもらい、保護者は子どもに対して **CDI** スキルを使う練習をします。遊んでいる様子をセラピストは別室で見守り、上手にスキルが使えていることをお伝えしたり、必要に応じてアドバイスをします。

第2段階：親指向相互交流（Parent-Directed Interaction: PDI）

愛情が伝わる形でしつけをするためのスキルを身に着けます。

ステップ1：**PDI** ティーチングセッション（約90分/回を1回）

愛情が伝わる形でのしつけのスキル（**PDI** スキル）を、セラピストと保護者の2人で練習します。

ステップ2：**PDI** コーチングセッション（約60～90分/回を平均6回）

遊びの中で、保護者は **CDI** スキルを使いながら合わせて **PDI** スキルを練習します。セラピストは **CDI** セッションと同じく遊んでいる様子を別室で見守り、上手にスキルが使えていることをお伝えしたり、必要に応じてアドバイスをします。保護者が **PDI** スキルを一人で十分に使えるようになったら、**PCIT** を修了します。

